

みんなで知ろう!

体感しよう!

なごやの民俗文化財

祭

令和6年9月23日(月・祝)

時間／13:30～16:00(開場／12:45)

目指せ!太鼓の名人
太鼓をたいてみよう!

尾張新次郎太鼓保存会のみなさんに
教えてもらいながら、実際に太鼓
を体験してみよう!



定員／400人(事前申し込み不要、先着順)

参加費用／無料

会場／名古屋市教育センター講堂
(名古屋市熱田区神宮三丁目6番14号)

講演、太鼓の実演の様子は
You Tubeで配信します。

〈当日ライブ配信および録画配信〉

※開演まではテスト画面が表示されます

https://youtube.com/live/Y1PeTz_Fa1U?feature=share



報告『名古屋市文化財保存活用地域計画』 の内容について

佐藤 譲(文化財保護課職員)

令和6年7月に文化庁より認定を受けました本計画の内容について、概要を説明します。

報告『名古屋市登録無形民俗文化財制度の 新設と登録された祭礼行事』

川口 義宏(文化財保護課職員)

令和6年4月より新たに設けた無形民俗文化財に対する名古屋市の登録制度について説明するとともに、すでに登録された祭礼行事について説明します。

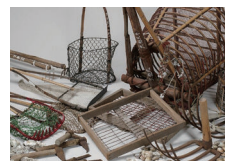
講演

民俗文化財の特色

— 中川区の下之一色漁業資料を事例として —

長谷川 洋一(文化財保護課主任学芸員)

中川区の下之一色ではかつて漁業が盛んに行われていました。下之一色の漁業に関する資料をもとに、民俗文化財ならではの特色についてお伝えします。



名古屋市博物館蔵

講演

大高祭りについて

早川 真氏(大高祭り保存会)

登録無形民俗文化財制度に登録されました緑区大高地区で江戸時代より続くお祭りについて、祭りの保存会の方に講演していただきます。

おわりしん じろう たい こ

尾張新次郎太鼓保存会による

太鼓の実演

破れる寸前まで皮を強く張った太鼓を、細く割った竹のバチで叩く神楽太鼓と、ヒノキ製のバチを回転させたり、飛ばしたりしながら太鼓を打つ曲太鼓をご覧ください。

※イベント終了後、実際に太鼓を体験してみよう!



おわり しん じ ろう たい こ 尾張新次郎太鼓とは？

愛知県西部の農村地帯に伝わる神楽太鼓で、
その名は祭り囃子の復活に生涯を捧げた西川新次郎の名前に由来します。

神楽太鼓は、太平洋戦争前まで農村に生活する青年達が、神仏に奉納する芸能の一つとして盛んに行われてきました。しかし、太平洋戦争、そして昭和34年の伊勢湾台風を経ると、祭礼でも太鼓と笛の音の響く所は少なくなっていました。

西川新次郎は、昭和40年頃から、神楽太鼓の技を精力的に若者へ伝えました。昭和54年、多くの弟子たちが一同に集い、尾張新次郎太鼓保存会が結成されました。



おお だか まつ しょう かい 大高祭りの紹介

毎年10月第1土曜日・日曜日に緑区大高地区で開催され、江戸時代より続く五穀豊穡への感謝を示す氷上姉子神社の例祭です。

傘鉾車や松車と呼ばれる花車を曳きながら、囃子を囃しながら町内を練り歩き、最後には9つの地区が氷上姉子神社に大列になって集まります。

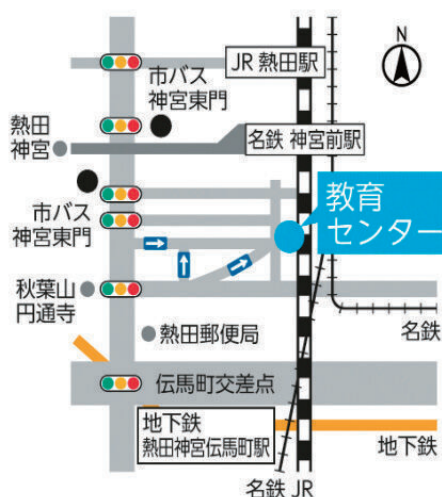
祭りの行列の先頭には、近世後期の名古屋における練り物風流の一つとして発達した「猩々」と呼ばれる大人形が歩きます。



名古屋市教育センターへのアクセス

- 地下鉄 名城線「熱田神宮伝馬町」下車
2番出口から北東へ約5分
- 市バス 「神宮東門」南行き下車 南東へ約5分
- 市バス 「神宮東門」北行き下車 南東へ約5分
- 名鉄 「神宮前」下車 南へ約5分
- J R 「熱田」下車 南へ約10分

※お出かけは、公共交通機関をご利用ください。



当日、開催の有無の確認は、**名古屋おしえてダイヤル ☎052-953-7584**

受付時間 8:00~ に、お電話ください。おかけ間違いにご注意ください。



《問い合わせ先》名古屋市教育委員会文化財保護課

受付時間：平日(月曜日～金曜日) 8:45～17:30

電話:052-972-3220 FAX:052-972-4202